

校 園 長 室 か ら



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和 8 年 7 月 8 日 第 113 号

夏休みの計画

初蟬の声を聴いたかと思うと、夏休みまであと 10 日を切っています。うれしような悲しような。夏休みは、始まったと思ったら、アツという間に終わります。いよいよ始まるとウキウキしている今が一番幸福かもしれません。

その夏休みに本を 3 冊は読んでほしいなあ、と思っています。電子書籍ではなく紙の本で。昭和に発行された本を手にとると、活字で印刷されているので、ページの面をなぞると、活字の凸凹を感じます。この触感、肌触りが読書の楽しみの一つであったりします。

さて、梅雨がしまろうとしていたころ、どうしても生頼範義氏が装丁した六興出版の吉川英治著『新・水滸伝』を手に入れたくって古本屋を数軒回りましたが、ない。禁じ手だと思っていたのですが、ネット上で探すとすぐに見つかりました。しかも廉価。

中国四大奇書の一つ『水滸伝』。今までも何度も読んだのですが、また改めて読み始めました。この物語の最初は、ブラームスの交響曲 1 番の始まりに似て、おどろおどろしい。108 人の魔物が閉じ見込められた洞窟の扉を開くことから始まります。九紋竜史進から始まり魯智真、林冲……と豪傑たちの物語りが一人が一人と出会い、次の一人がまた次の一人と出会うという数珠つなぎの構成で語られていきます。

やかで、108 人が梁山泊で結集し……。ここで終わるバージョンもあれば、最後の「徽宗皇帝、夢見て梁山泊に遊ぶ」まですすむ完全版が素晴らしい。で、なぜ「水滸伝」を読むのか。

それは夏休みに大阪市立美術館にいくため。

そこに何があるのかは、ナイショ。